

【今週の注目疾患】

《インフルエンザ》

2024年第43週における県内のインフルエンザ定点医療機関からの定点当たり報告数は、前週の0.83(人)から増加して1.16(人)となった。2024年第18週以降1.00(人)を下回って推移していたが、流行開始の指標となる1.00(人)を超えた(図1)。患者報告数が多かった地域は、君津4.15(人)、夷隅3.80(人)、市川2.00(人)であった(図2)。

図1: 千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数

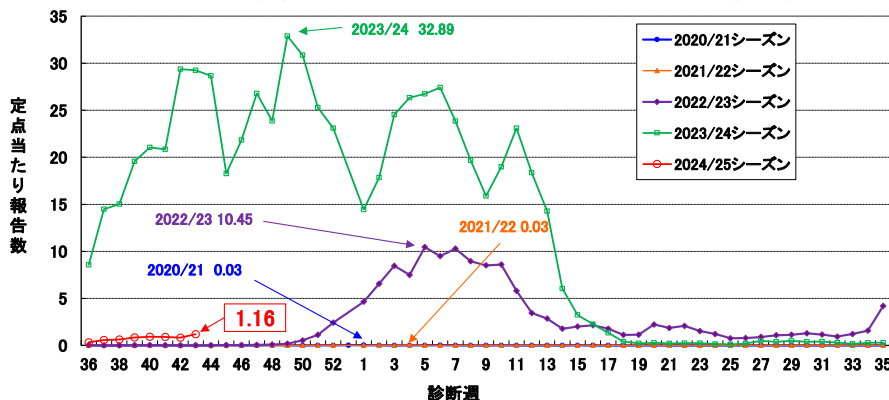
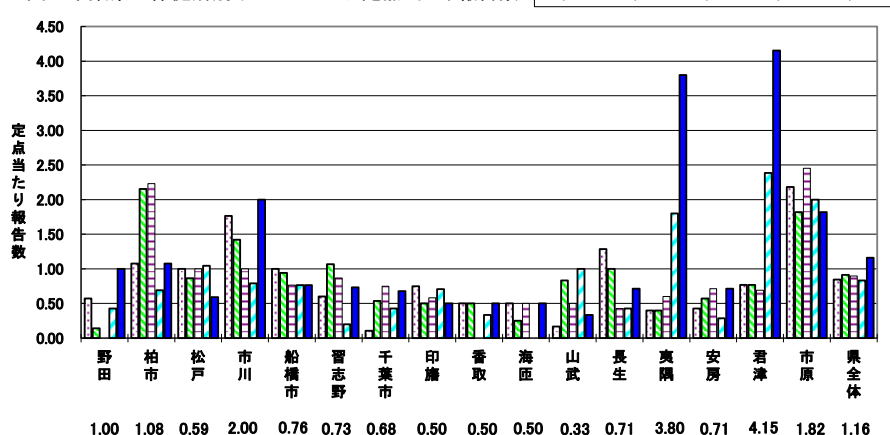


図2: 千葉県の保健所別インフルエンザ定点当たり報告数



2024年第37週に県内の小学校において2024/25シーズン(2024年第36週から2025年第35週までの期間)初となるインフルエンザ(インフルエンザ様疾患を含む)の集団発生による学級閉鎖の報告があり、その後も県内の複数の施設で学級閉鎖が散見されている^{1,2,3)}。

近隣の自治体では、2024年第41週(前々週)にインフルエンザ定点当たり報告数が茨城県で1.23(人)となっており、流行開始の指標である1.00(人)を既に上回っている³⁾(表)。

表 2024年第38週から第42週までの全国及び近隣自治体のインフルエンザ定点当たり報告数

	38週	39週	40週	41週	42週
全国	0.55	0.63	0.77	0.89	0.73
千葉県	0.63	0.85	0.89	0.91	0.83
茨城県	0.43	0.62	0.83	1.23	1.47
埼玉県	0.54	0.40	0.48	0.70	0.44
東京都	0.59	0.69	0.80	0.94	0.74
神奈川県	0.62	0.53	0.70	0.94	0.68

2024年第43週に報告のあった計237例のうち、209例について定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告があった。209例中A型202例（96.7%）、B型3例（1.4%）、A and B型（A型とB型両方陽性）1例（0.5%）、A or B型（型非鑑別キットで陽性）3例（1.4%）であった（図3）。

図3a: 2024/25シーズン千葉県におけるインフルエンザ型別迅速診断報告数

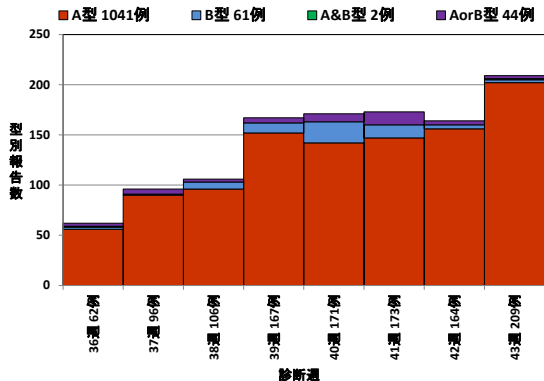
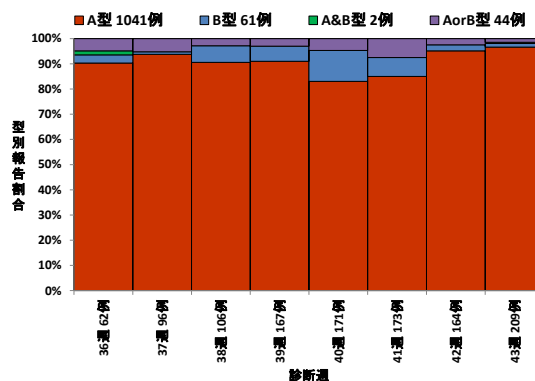


図3b: 2024/25シーズン千葉県におけるインフルエンザ型別迅速診断報告割合



インフルエンザはインフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気である。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴であるほか、普通の風邪と同じように、咽頭痛、鼻汁、咳等の症状も見られる。小児ではまれに急性脳症を発症し、高齢者や免疫力が低下している患者の場合には肺炎を伴う等重症化する危険性が高い。

予防するための有効な方法としては、①ワクチン接種、②外出後の手洗い、③適度な湿度の保持、④十分な休養とバランスの取れた栄養摂取、⑤人混みや繁華街への外出を控える、⑥室内ではこまめに換気をする等が挙げられる^{4,5)}。

■参考

1)船橋市：インフルエンザ様疾患の感染拡大防止について

<https://www.city.funabashi.lg.jp/kenkou/kansenshou/001/p112054.html>

2)千葉県健康福祉部疾病対策課：インフルエンザ様疾患による学級閉鎖について（令和6年9月25日）

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2024/influenza-like-illness.html>

3)厚生労働省：2024年10月25日インフルエンザの発生状況について

<https://www.mhlw.go.jp/content/001320491.pdf>

4)千葉県健康福祉部疾病対策課：インフルエンザから身を守ろう

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/influenza-yobou.html>

5)厚生労働省：令和5年度インフルエンザ Q&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/QA2023.html